

たかぎ



# 議会だより

No.50

平成22年7月

発行 長野県喬木村議会  
編集 議会だより編集委員会  
発行責任者 原 嘉俊  
印刷 龍共印刷(株)



## 園児とお年寄のふれあい デイサービスにて

平成22年第2回定例会 …………… 2

常任委員会報告 …………… 4

一般質問 9名が村政を問う …… 5

子宮頸がん予防ワクチンの  
接種に対する助成を求める意見書 … 9

この村でがんばってます!! ………10

火葬場問題の経緯 ……………10

22年度

# 国民健康保険税率 前年度比2.5%引き下げ

## 平成22年第2回定例会

平成22年第2回定例会が6月2日から21日までの20日間の会期で開催され、専決処分・報告、条例の一部改正、補正予算等を承認、可決した。また、請願、議員発議を採択し、関係機関へ意見書を提出した。

予防事業の効果と  
数年医療費が安定したことにより

### 構成割合

※限度超過額を除く構成

区分		21年度		22年度	
応能	所得割	43%	54%	46%	60%
	資産割	11%		14%	
応益	均等割	32%	46%	29%	40%
	平均割	14%		11%	

### 世帯・一人あたり比較

区分	21年度	22年度	比較増減	対前年比
一世帯あたり	96,227円	94,033円	△2,194円	2%減
一人あたり	52,524円	51,233円	△1,291円	2.5%減

### 野生鳥獣防護柵

#### 国の交付金大幅削減

により起債で対応

平成22年4月に野生鳥獣防護柵の事業申請を出したが政府の事業仕分けによる予算減に加え全国的な要望の増加により、当協議会の要望は大幅な減額が内示された。その事から事業実施については検討を余儀なくされた。

村としては、今後増え続けるであろう野生鳥獣被害への対策は、村民の気運が高まっている今実施することに意味があると考え、交付金事業申請を断念し起債事業である「辺地対策事業債」により、村が事業主体として取り組む事とした。

#### ○事業規模

延長：16,280m

事業費：83,000千円

柵規格：高さ2m（立地条件により上部高上げ）

コスト削減と事業効果を考慮し、資材・ルートを選定

## 専決処分

・喬木村税条例の一部改正

地方税法改正による文言の修正と、個人住民税、たばこ税の改正

・喬木村国民健康保険税条例の一部改正

地方税法改正による基礎課税額の限度引き上げ

・予算一般会計

歳入の村税、地方交付税の精算増と歳出の不用減等で留保できる財源があり基金へ2億円を積立

## 人事

○固定資産評価審査委員会委員の任期満了により、喬木村1022番地、矢澤輝雄氏の再任に同意した。

## 条例改正

○喬木村国民健康保険税条例の一部改正  
国保税率の変更

## 計画変更

○辺地に係る公共施設の総合整備計画策定

鳥獣害対策防護策整備事業に係る辺地債の事業費の変更

## 請負契約

○社会資本総合交付金事業

業道路改良工事（村道7号線大和知）に、中川建設有限公司社と8,085万円で購入契約に同意

## 補正予算

○一般会計

（歳入）  
・辺地対策事業債（借入金） 8,100万円  
・野生鳥獣害柵設置補助金協議会立替分 △4,655万円

（歳出）

・県議会議員補欠選挙執行経費 170万円  
・北部総合事務組合負担金 △399万円  
・歴史民俗資料館管理運営経費 345万円

### 平成21年度 専決補正予算

会計名	補正金額	予算総額	
一般会計（第9号）	1億5,249万1千円	35億3,503万0千円	
特別会計	国民健康保険（第5号）	△835万1千円	5億4,177万1千円
	老人保健医療事業（第2号）	△250万2千円	201万6千円
	後期高齢者療養（第3号）	△402万1千円	5,856万6千円
	介護保険（第4号）	△2,058万0千円	6億2,343万4千円
	村営水道（第4号）	△1,258万9千円	3億0,919万0千円
	下水道（第3号）	267万2千円	2億3,282万2千円
	農業集落排水（第3号）	150万2千円	7,089万8千円

### 平成22年度 6月補正予算

会計名	補正金額	予算総額	
一般会計（第1号）	3,647万9千円	30億6,647万9千円	
特別会計	国民健康保険（第1号）	46万7千円	5億2,346万7千円
	介護保険（第1号）	△289万6千円	6億4,310万4千円
	下水道特別会計（第1号）	増減なし	2億1,300万0千円
	農業集落排水特別会計（第1号）	127万0千円	7,227万0千円

## 請願

○国民健康保険特別会計

保険証が世帯証から個人証に切り替えによる経費増

○介護保健医療事業特別会計

人事異動や公用車購入に伴う予算組み替え

○下水道特別会計

管路布設工事  
○農業集落排水特別会計  
修繕費、公共外取付工

事費経費

## 請願

◇地方自治体において明確にされた住民意思を尊重し国家政策に反映することを日本政府に求める意見書提出に関する請願書（継続）  
：趣旨採択

◇30人学級の早期実現  
教職員定数増を求める意見書提出に関する請願書  
：採択

◇「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願書  
：採択  
◇長野県独自の30人規模学級の中学校全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書  
：可決

## 議員発議

書提出に関する請願書  
：採択

◇子宮頸がん予防ワクチンの接種に対する助成を求める意見書  
：可決  
関係機関に意見書を提出した。

# 総務産業建設常任委員会

委員会に付託された辺地に係る公共的施設の整備計画の策定、平成22年度補正予算（一般会計と下水道・農業集落排水の特別会計）を審査の結果、当委員会は、いずれも可と決しました。

継続審査の請願は、趣旨採択に決しました。

質疑、意見から  
22年度一般会計補正予算

・鳥獣害防護柵は、当初

# 各常任委員会報告



凍霜害の視察（伊久間原）

の国からの交付金と県からの特別交付税で、

最大有利に使えた場合

90%の交付金を見込んでいたが、国からの大

幅な交付金減額につき、

今回辺地債で対応する。

辺地債は元利償還金

の80%が普通交付税

返ってくる制度。

・農村地帯では日本中、

鳥獣被害の可能性があ

る。都会に住む者が事

業仕分けで削減してい

るが、実態を知っても

らうためにも意見書を

上げていくべきとの意

見が出された。

・クラインガルデンの進

捗状況は、現在交付金

の内示があり交付申請

の段階で、市民農園の

区域指定、市民農園開

設許可、農振地域の軽

微変更を経て、8月に

入札、利用者の募集は

9月中旬頃予定してい

る。

・継続審査の請願は、住

民の意思を尊重し、請

願の主旨は決して間

違ってないことから、趣

旨採択と決しました。

# 社会文教常任委員会

委員会に付託された条例の一部改正する条例1件、一般会計、国保特別会計、介護保険特別会計補正予算は可決。請願3件はそれぞれ採択と決し、関係機関に意見書を提出することとなつた。

国保保険税「応能割60・応益割40」を採用

国民健康保険条例の一部を改正する条例は、

国保税率を改定するもの

で、昨年比約2.5%

引き下げた。また低所得

者の負担を軽減するため、

応能割、応益割の負担割合

を従来の54対46を60対

40にした。税率がほぼ昨

年並となったのは、健康

管理がされ医療費が増え

なかったことで、なお一

層の健康管理が望まれる。

審査質疑から

一般会計補正予算

・第二小学校の天窓から



五反田遺跡の視察

児童の落下防止の改築

工事費120万円。

・次世代交流施設の子供

の転落防止工事費52万

円。

・歴史民俗資料館の増工

事費300万円。

・国保特別会計補正予算

・国保保険証を個人用の

カード型に切りかえる

ための作成費の補正。

・介護保険特別会計補正予

算

・軽自動車購入費120

万円を一般会計へ組替

えのための減額。

議員発議

・一般質問で3議員から

子宮頸がん予防ワクチ

ンの接種助成を村が行

うよう質問がされたた

め「だれもが接種する

ことが出来るために、国

費による助成措置を講

ずるよう要望するもの。」

意見書はP9に記載

北部ブロック町村議会

議員研修会の議題につ

て

・乳幼児医療給付事業の

更なる確立と受給者負

担金(レセプト料)の引き

上げ見直しについて

を決定した。

# 一般質問



型看板を設置したらどうか。

村長 人材育成基本方針を策定し研修している

## 新規採用職員の教育計画は

筒井正司 議員

研修をしている。村長との個人懇談や、副村長によるグループ懇談がこれにあたる。

**A** 新規職員研修は県が主催する研修会に、4月、9月の2回参加している。

村においては、地方自治新時代における人材育成基本方針を策定し毎年

研修をしている。村長との個人懇談や、副村長によるグループ懇談がこれにあたる。竜西から見える看板となると、かなり大きな物でないと見えない点から無理と思うが、広報活動の一案として参考にしていく。

**Q** 企業における新規採用者の指導・教育は、組織にとっても、本人にとっても重要なものである。公務員の新規採用職員の教育は、県が主催する前・後期の2回の研修のみである。地域独自の住民対応など喬木村としての教育計画を作成したらどうか。

村外に向けて、喬木村知名度アップの方法として、ホームページやパンフレットが主となっているが、発信力が弱い。竜西から一望できる大



職場風景

## 子宮頸がんワクチンの全額補助は

木下壽雄 議員

村長

今は考えていないが重要な検討課題

**Q**

子宮頸がんを予防するワクチンの接種費用は県内では根羽村や南牧村が希望する中学生に全額補助する。又、松川町では町内の中学2・3年女子を対象に、半額補助する。村では全額補助の考えはないか。

企業人の行動指針などを簡潔に記した携帯型の社員向け心得集「クレド」



野球界でも導入されるようになった。

これをそっくり行政に生かすわけにはいかないと思うが、昨年職員の不祥事があつたばかりだ。村でも独自の心得集を作成したらどうか。

**A** がん検診の受診率を上げることが、予防の第1と考えている。今

は補助ということは考えていないが、重要な検討課題なので更に検討を進めていく。

クレドについては以前から、社員心得等の名称で存在していた。各々が毎日仕事をしていく中で切磋琢磨しながら進んでいく事が大事。住民から信頼を得られるよう、研究していく。



情報冊子

# 一般質問



**Q** 総額8千万円余のクラインガルテン建設事業のその効果をどう考えるか。建設後の管理運営は、地元に移すと聞いているが、地元への周知、受入れ体制は整っているのか。

**A** は、建設効果については、元気ある地域の創設、遊休農地の利活用を図りながら、利用者が土地と農業、地域と地域



阿南町の新野クラインガルテン

## クラインガルテンの運営体制は

大平 武司 議員

区民総会の決定が総意と判断している

文化に親しんで、住民との交流を深めることにより地域の活性化の一助となればとの目的で事業を計画した。

両区とも区民総会で決定された内容で区民の総意と判断し受け入れ体制についても整備されたと考えている。

## 子宮頸がん予防ワクチン接種に助成を

原 東彦 議員

村長 現段階では補助を考えていないが重要な課題である



**Q** 子宮頸がんを予防するのに効果があるワクチン接種には5万円から6万円かかる。村でワクチン接種の助成はできないか。

東京の「長野県東京事務所」は有効に利用されている。喬木村でも活用する必要があると思うがどうか。

「全国小さくても輝く自

治体フォーラムの会」が発足した。呼びかけ人には下條村長、阿智村長ら8町村長がなっている。村長は2つのフォーラムの会をどうとらえているか。賛同する考えはあるか。

**A** は、予防ワクチン接種は、国が定期接種に位置づけていくことが必要と考える。現段階では補助を考えていないが、重



予防ワクチンのパンフレット

要な課題として取組みたい。

現状は、観光パンフレットの設置のみ利用している。今後必要性が生じたら活用を考える。

下伊那の会員となっている町村長に話を聞き、必要であれば取組んでいきたい。当面、広域連合、定住自立圏構想、北部事務組合等を中心に、一緒にやっていきたい。

# 一般質問



**Q** 村の機構改革により、保育園も教育委員会の管轄になり、小中学校と連携をもって教育にあたっている。保護者の労働環境は多様化している。そのため勤務形態の違いが生じている。保育園の土曜保育は、現在は午後4時までである。更に午後6時までで延長してほしいとの要望があるが、現在の利用状況と時間延長に対する村の考えは。

**A** 平成21年度の土曜保育の利用状況は、



中央保育園の土曜保育

## 土曜保育の時間延長は

森谷博之 議員

村長  
利用実態を見て検討する

50日の保育数があり1日平均3.8人であり、午後利用者となると2.3人である。園では、家庭訪問の際に、時間延長の要望が3

家庭から出された事を把握している程度であり、今後の利用実態を見ながら、改めて慎重に検討していく。

## くりん草園の駐車場は

太田 忠 議員

村長

保安林であり拡張は困難



**Q** くりん草園は、村内外からの沢山の見物客で賑わい、喜ばしいことである。しかし、来園者の駐車場が狭く迷惑を掛けている現状である。今後も、皆様に気持ち良く来て頂くため、村として手狭な駐車場問題にどう対処するのか？教育長の報酬が高すぎるのではないかとこの村

民の声がある。教育長は一般職に属する地方公務員だが、一般職でも出来る内容の仕事に、退職した公務員が特別職並みの厚遇されている理由は何か。

**A** くりん草園の駐車場地域は保安林であり駐車場の拡大は困難である。来園者が集中する土日のシャトルバス運行を1

つの方策として、くりん草愛好会と協議する。本村では、「番木村教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例」にて定めており、多くの項目で一般職の例を準用している。教育委員としての特別職の身分と、教育長としての一般職の身分を併せ持っているが、特別優遇はしていない。



クリン草園駐車場

# 一般質問



**Q** 長野県には米軍基地がないが、沖縄には全国の75%の基地が存在している。民主党は昨年の国政選挙で普天間基地を県外、国外へ移設すると公約したにもかかわらず、首相は解決せず辞任した。この問題をどう受け止めるか。

阿島傘作り養成講座の検証と、今年度予算の20万円はどのような内容か。地域の活性化にどう貢献していくのか。

鳥獣対策防護柵の今年度交付金決定の経過について。

村長

養成期間はまだまだ必要

阿島傘講座1年を検証して

元 島 賞 子 議員

**A** 沖縄は、先の大戦で本土決戦の場となり、言葉に言い表せない悲惨な面があり現在も引きずっておる。基地問題は難しいが理想としたら県外、国外へ持つていくのが筋ではないか。

講座1年を経たが、まだしばらく養成期間が必要と感じる。20万円は講師の謝礼と傘作りに要す

る消耗品費、不足する面は若干増額し支援を続ける。

防護柵の国からの交付金が減り当村にも当初要望額の14.5%の648万9千円しか内示されなかった。地域の実情を知らない人達が国の事業仕分けを行うという事は非常に残念である。



阿島傘養成講座

## 行政改革の見直しは

小 澤 博 議員

村長 総合振興計画の作業を見ながら検討したい



**Q** 第2次喬木村行政改革大綱が平成17年度に策定され、今年度計画期間が終了となるが、計画すべて完了に至っていない。この大綱の改革プラン実施計画の中で、村有林の入札による林産物採取権の確立、長期的に利用のない土地の売却による財源確保についての取組と、効果は。

**A** 村有林の入札方法の検討は、まだ着手できていない。未利用の村有地の売却は、一部払い下げしたが全体として

行政改革にこれまで取り組んだ評価、成果はどうであったか。地方分権の推進のため更なる行政改革が必要であるが、見直しの考えは。

行政改革で取り組んだ成果は、村民バスの導入により経費削減と利便性の向上、道路網の再編により補助率見直し、自治振興交付金の制度化の拡充により、各区、自治会の裁量権を拡大した。

行政改革の見直しは、総合振興計画の見直し作業を見ながら検討したい。



行政改革で取り組んだ村民バスそよかぜ

# 一般質問



**Q** 第2次行政改革大綱は平成18年度より推進されてきており、今年が最終年度である。

職員提案制度が実施されているが、提案件数及びその概要と採用状況はどうか？  
パブリックコメント制度は、事業着手前に住民の意見を聴く機会を設ける制度である。各種委員の公募制もその一つである。パブリックコメント制度を導入した事業件数は？



行政改革大綱と総合振興計画

## 職員提案制度は

昼神 二三男 議員

村長  
村政運営に取り入れている

**A** 提案件数のカウン  
トはしていないが、職員からその都度、口頭やメールで気付いたことを提言してもらっている。  
3年前から、職員との個人面談をしており、昨年は職員・嘱託者全員に村づくりへの提言書を書いてもらい、それに基づいた個人面談を行った。多方面に亘る提言があり一部は今年度の村政運営にも取り入れてきた。  
パブリックコメント制度導入については村としては、たかぎ子育て憲章について、広く意見を聴く計画に活かしていく。

## 子宮頸がん予防ワクチンの接種に対する助成を求める意見書

子宮頸がんについては、近年、若年世代において著しい増加傾向にあり、20代から30代の女性におけるがんの中では、乳がんを抜いて最も高い発症率であると言われる。全国では、年間約3,500人が亡くなっており、9,000人以上が新たに罹患していると推定されている。

こうした中、子宮頸がんの発症に関与しているヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を予防できるワクチンが開発され、我が国においても昨年12月から接種が可能となった。しかしながら、その費用については、総額5万円から6万円かかるとされ、個人で負担するには高額であることが課題となっている。

ワクチンの接種に関し、日本産婦人科学会等では、生命や子宮を失う危険性から女性を守るため広く公平な接種の普及を求めており、特に効果の高い11歳から14歳の女子に対する公的負担による接種を推奨している。

海外では約30か国において公的負担が行われているとされ、我が国においても接種費用に対する支援が不可欠なものとなっている。

よって下記事項を強く要望する。

記

1. 子宮頸がん予防ワクチンの接種の普及を図るため、国費による助成措置を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成22年6月21日

衆議院議長	横路 孝弘	殿
参議院議長	江田 五月	殿
内閣総理大臣	菅 直人	殿
財務大臣	野田 佳彦	殿
厚生労働大臣	長妻 昭	殿

長野県下伊那郡喬木村議会

# 踊る！からたちの会

氏

木 乗  
下 美  
幸

こんにちは！氏乗の民謡クラブの紹介です。現在3名のクラブ会員です。3ヶ月に1曲の割合で阿島の吉川照子先生に習っています。月に1回先生に指導して頂いて後は毎週1回自分達でおさらいをしています。主に歌謡曲を踊っています。新曲を習えば前回の踊りは忘れてしまう事はオチャノコサイサイ♡それでもいくら脳トレになるだろうと思つて頑張つてます

が1年かかって覚えた曲はいつでも踊れるんですよ！身体が覚えていて自然と動くのです。本来はこの位に踊りこなさなければいけないのですが常ではちよつと派手ねえという衣裳が着られるのうれしいこと。楽しみは踊りの後のお茶会！！とく子さん

が作るイモ干しを食べながら野菜の作り方や料理方法とかいろんなアドバイスが聞けるためになり

この村で  
**がんばって  
ます!!**



氏乗さくら祭りにて

## 北部5町村 火葬場問題の経緯

あとがき

下伊那北部地域に火葬場が必要との声は、前から上つていた。そこで北部5町村では、火葬場設置に向けて、一昨年来本格的な検討に入ったのである。そして、5町村から公募により16ヶ所が上り、理事者会で総合的に検討した結果、松川町郷原地区と豊丘村河野地区の2ヶ所が、具体的な研究、検討対象地区として、しぼりこまれたのである。

6月議会は国保を審議する大事な議会でした。喬木村は、住民、職員

さらに昨年4月より「下伊那北部総合事務組合」が発足し、豊丘村役場内に事務所を組織して、改めて「北部地区火葬場設置研究会」が、5町村長を中心に構成された。こうして先にしぼりこまれた2ヶ所の候補地について、多角的に研究、検討がすすめられてきたのである。

努力で前年度対比国保税を2.5%の引き下げで実施されます。また今回議員提案で子宮頸がん予防ワクチンの接種に対する助成を求める意見書を提出しました。以前喬木村が日本一の長寿村とのある調査機関で発表がありました。健康で暮らす事は、私達の夢でもあり、宝です。国保税を少しでも安くするため、また住民の皆さんが健康で暮らせる環境作りに議会の役割を果たして行きたいと思ひます。

その結果、両候補地を白紙とする旨結論づけたのである。そして5月6日下伊那北部総合事務組合協議会臨時会は、火葬場事業を当面休眠とし、そのための事務局体制と予算の縮減について決定したが、北部地区への火葬場設置の必要性については、5町村での共通認識であることにはなっていないのである。(原 嘉俊)

### 編集委員会

- 委員長 横前 豊
- 副委員長 小澤 博
- 委員 元島 賞子
- 委員 森谷 博之
- 委員 昼神 三男

